



# 岐阜北週報

10月 経済と地域社会の発展月間・米山月間

□ 題 字	小泉 宣昭	□ 会 長	小泉 宣昭
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	松野 秀計 2018-2019
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	辻 博 No.1738
		会報委員長	岡田一二三 18.10.10 発行

## 前回の記録

第 1737 回 例会 10月3日(水)  
慶祝行事  
クラブフォーラム (4)

担当：米山奨学委員会

## 本日の予定

第 1738 回 例会 10月10日(水)  
卓話 (1)  
100万\$

担当：森本・前田 (裕)

## 次回の予定

第 1739 回 例会 10月13日(土)  
クラブアッセンブリー (4)  
地区大会

担当：社会奉仕委員会

## 会長挨拶【小泉 宣昭 会長】



本日のお客様、米山記念奨学生、岐阜大学3年生 万 炫孜 (マン ケンシ) さんと、米山記念奨学部門委員、長谷川 隆志さん (岐阜東ロータリークラブ所属) はせがわ接骨院の院長です。本日のクラブフォーラムよろしく願います。

9月19日夜間例会、9月26日早朝例会と、例会変更でともにお疲れ様でした。夜間例会は、会員増強で、4名の参加中、3名の入会意思がありました。谷田さん待望の女性2名で山田さん、田代さん、そして、皆さんよく知っていた谷川さんです。三木さんは今度、前田さんと会食を予定していますので、積極的にお話していきたいと思っています。

11月21日に夜間例会がまたありますので、若い林さん、安藤重広さん、近藤さん、前田裕弘(やすひろ)さん、1人でよいので紹介をよ

## 会長挨拶 続き

ろしくお願いしたいと思います。

先日、和歌山県にある高野山へ行き、金剛峯寺と奥の院へ、初めて行ってきました。奥の院は、弘法大師(空海)さんが開いた霊場として、ユネスコ世界遺産に登録されている場所です。皆さんは、すでに行かれた方はみえると思いますが、約2kmの参道沿いに、20万基の戦国武将や有名企業の松下幸之助の立派なお墓や、古くてコケが付いて誰か分からないようなお墓が沢山あり、私は織田信長、豊臣秀吉のお墓に参ってきました。豊臣秀吉は、生前にお墓を確保したということで、広い敷地にあり、織田信長は、小さい敷地にありました。御廟橋(ごびょうのはし)を超えると、聖地エリアになっていて、今でも弘法大師様がみえるということで、写真撮影、タバコは禁止になっていました。まだ行かれたことのない方は、人生のうちで一度は行かれるとよいのではないのでしょうか。

## 出席報告

会員数：30名  
出席数：22/30名  
出席率：73.33%  
欠席者：8名 (出席免除 3名 81.48%)  
来訪者：長谷川隆志様 岐阜東 R.C. (米山)  
万 炫孜(マン ケンシ)様(岐阜西 R.C.)

## 慶祝行事

1. 会員誕生日のお祝い
  - 10月 6日 川島 明雄 会員
  - 10月13日 片桐順一郎 会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
  - 10月 2日 岡田 広子 様
  - 10月 2日 小森 京子様
3. 結婚記念日のお祝い
  - 10月22日 波多野光裕 会員

## ニコニコBOX (敬称略)

### 岐阜東 R.C.長谷川隆志様

: 本日は、米山月間のため学生さんをお連れしてお世話になります。

小泉 宣昭: 米山記念奨学生 岐阜大学 3年生マン ケンシさん、米山記念奨学地区委員 長谷川隆志さん、本日はよろしくお祈いします。

川島 明雄: 誕生日を祝っていただいて

片桐順一郎: 健康で誕生日を迎えられ、喜びと感謝

小森 保敏: 女房の誕生日を祝っていただいて

長野 鉄司: 米山記念、万炫孜 (マンケンシ) さん、長谷川隆志さん、今日よろしく

井戸憲一郎: 今日もよろしくお祈いします。

## 委員会・同好会報告

- ・ 青少年奉仕委員会
  - 10月8日バレーボール大会 (北部体育館)
  - 14時頃の集合で参加お祈いします。
- ・ 社会奉仕委員会
  - 10月27日若松学園 学園祭です。日用品バザーに協力をお願いします。10月10日の例会時より、物品を例会会場入り口にて集め10月24日を最終日とします。
- ・ ロータリー情報委員会
  - 第二回 IGMを10月26日18時30分より開催します。
- ・ 親睦交流委員会
  - 第37期 氷見 R.C. 合同例会のご案内
  - 11月9日~10日

## 例会行事 クラブフォーラム (4)

担当: 米山奨学委員会

講師: 万 炫孜 (マン ケンシ) 様

同行: 長谷川隆志様 岐阜東 RC



岐阜北ロータリークラブの皆さま、こんにちは。初めまして。まず、自己紹介させていただきます。私は、岐阜大学地域科学部地域政策学科三年生マン ケンシと申します。現在、岐阜西ロータリークラブに所属しています。中国からまいりました。今年は23歳です。日本に来て最初は、本巢の日本語学校で2年間を過ごしてきました。その後、岐阜大学に入学しました。今年で日本での5年目です。

うちは5人家族です。お爺さん、お婆さん、父母と私です。出身地は江西省南昌市というところ。みんながほぼ聞いたこともないところだと思うので、紹介してください。中国の南の方で気候は岐阜と一緒です。もしくは、もっと暑いところ。ちなみに1988年から岐阜県と江西省は友好都市となっております。今年ちょうど30周年記念になっております。お祈いのために、両地区では様々な活動が行なわれています。興味があれば、ぜひ行ってみてください。30年間で政府の交流から民間までの交流に拡大しています。私の両親もその影響で日本へ人材派遣という仕事を20年間続けて勤めています。平均年間5、6回、日本へ来たり行ったりしています。仕事は岐阜を中心にやっていますので、岐阜がほぼ第二の故郷だと、父はいつも言っています。私の幼い頃から父親が岐阜から帰ってきたお土産や仕事の笑い話が当たり前のような話で聞いていました。年をとると、日本は外国だと認識し始めた頃、異文化や経済面などの文化交流もだんだん知られてきました。高卒以降、自分の目で日本へ行って確かめたいと思っていました。

## 例会行事 クラブフォーラム（４）続き

そして、日本へ来ました。言語学校の生活は、私にとって非常によい経験だと思っています。まず、日本に来た頃、何もわからないまま、先生のお世話で諸国の友だちと頑張って日本の生活に慣れ、渡り板として異文化の理解と日本生活につながることができました。

日本人との関わりが多くなったのは、大学に入学して以来、同級生は中国人2人を除き、全員日本人です。もちろんゼミ室も全員日本人です。最初は、日本人と話し合うとき、全くわかりませんでした。が、だんだん交流してみると、失敗した経験もいくつもあります。同級生の皆が温かい心で私を受け入れてくれまして、非常に感動しました。それで異文化と向き合う自信を身につけ、なんでも挑戦してみるようになりました。

どうぞ、本日よりよろしくお願いいたします。

次に、私の大学の研究内容について、報告させていただきます。

2年生前期の半ばから、専門ゼミを選択し、現在、宮野先生のゼミに入ることになりました。宮野先生のゼミでは地域開発と社会資本論を専攻しております。今年、ゼミの授業では自然エネルギー発電をテーマとして学んでいます。そして、勉強内容は、地域開発と国土開発の計画の思想、歴史や現状です。昨年の9月初めに、人生初の合宿に参加しました。交歓ゼミのために、調査等を行ないました。同年12月に静岡大学と金沢大学とうちの大学と三校連合交歓ゼミを無事にやりました。私は交歓ゼミの論文で「インバウンド政策」という小節を担当させていただきました。論文を書くために、色々な文章、新聞やサイト等を読んでいて、外国人の目で日本のインバウンドについて、考えや立場に基づいて、先生の指導と先輩の意見を参考にし、書くことができました。人生で初めて、日本人学生さんの前に自分で書いた論文を発表したことで、その経験が私にとって非常に大事な経験です。現在大事な3年生になり、もちろんゼミの主力軍となり、今年の交歓ゼミのためにも論文を書かなければならなくなり、テーマは「エネルギー発電につながっているまちづくり」です。初めて、電力等に触れることができ、エネルギー発電の仕組みや関わりも少しずつ学んでいます。

## 例会行事 クラブフォーラム（４）続き

また、今年の9月に三重県鳥羽市へ行ってきました。それだけでなく、ほか、全国でも代表的な小水力発電を調査するため、岐阜県郡上市石徹白地区にも行ってきました。今年の12月12日から14日まで三日間で、金沢大学が幹事校として石川県加賀市にて交歓ゼミをやる予定です。うちの先生は来年で定年になるため、今回の交歓ゼミは先生の最後の交歓ゼミになります。先生に対しても、私たちに対しても後悔がないように精一杯に頑張りたいと思います。

3. 11大震災を危機として、多くの地域から「脱原発活動」や地域の方で自然エネルギー発電をやり始めました。国はともかく、国民が必死に地域が将来の世代のために残してあげたい、持続可能な地域をつくっています。その現状が私の研究内容となっております。

最後は、私の将来の夢とロータリーとの関わりについてお話しします。将来について、私は大学院に進もうと思っています。今年から肝心の三年生になりましたので、学業にもっと一生懸命頑張ろうと考えています。先生に相談に乗っていただいて、いろんなことが勉強になりました。それだけでなく、大学院を卒業したら、日本に残って、就職したいと考えています。なので、今からゼミの先輩方と留学生の先輩方に就活に関して、自己分析等もやっています。今、経験している就活に関する勉強は、日本で就職するために非常に大事だと思い、こういうプログラムがありがたく、勉強させていただいています。

私の夢は、世界中どの国、どの地域でも、各国や地域の伝統が守られる世界になることです。その鍵の一つは、私が学んでいるまちづくりだと考えています。まちづくりを具体的にいうと、ケースバイケースの場合がほとんどですが、同じである部分も存在しています。その同じ部分は共通性があり、どの国、どの地域でも使えるので、それを見つけて、国際交流にも力になれるのではないかと考えています。もちろん、各地域に対して、最適な案を提出することが非常に大事なため、私はそれをできるような人間になるため、もっと勉強したいと思い、大学院で今よりもっと専門性を高めていこうと考えています。

日本に来たばかりのときに、岐阜公園の中、

## 例会行事 クラブフォーラム（４）続き

岐阜市博物館の対面のロータリーの「四つのテストの壁」を見たことがありました。その中身は、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか、という言葉が私にとって印象が非常に深かったです。実際に米山ロータリーの例会に参加し、四つのテストの中身に感心しました。私は、岐阜西ロータリーに所属して以来、たくさんのロータリーマンから温かい言葉や励ましの言葉をたくさんいただいております。この間に岐阜西ロータリーの桐山さんと山田さんと一緒に食事をしてご馳走になりました。桐山さんは呉服のお店をやっているのしゃるので、鵜飼の話や呉服の話がたくさん教えていただいて、日中文化や岐阜の歴史を交流しながら非常に楽しい時間を過ごすことができました。この貴重な交流機会があって、本当に心から感謝いたします。そして、ロータリーの友という月刊も毎月見えています。その中で、いろいろな面白い文章やみんながやっていたことが掲載されました。読んでみて勉強しています。例えば、米山学友が「留学生の進学指導で起業」という文章があり、読んでみてすごく感動し、共感しました。自分も留学生の身分なので、進学や就活の際にどれだけ迷うか、緊張するかよく分かっています。また、その方が、地域みんなのためやっていたことや、その方はそういう事業の陰で日本の地域や社会と接することが更に多くなったことは、私の専攻のまちづくりの中の地域再生や地域活性化の視点からみると非常に素晴らしいことだと思いました。また、「有田市の活性化に米山奨学生も一役」という文章も非常に印象的でした。有田市の活性化のために米山奨学生が参加人数は少人数ではなく、50人ぐらいという非常に大きな団体で積極的に参加したことが非常に感心しました。地域活性化することは、決して簡単ではありませんので、こういう積極的な参加や活動をするのは極めて大事です。いつも日本人が参加している地域活性化の活動に各地域に住んでいる外国人を混ぜてやれば、意外な化学反応が出て、効果が期待できるのではないかと思います。以上は私とロータリークラブの今までの関わりでした。これからもこの貴重な奨学金をいただいて、この素敵な四つのテ

## 例会行事 クラブフォーラム（４）続き

ストに基づいて、自分の留学生生活をもっと頑張りたいと思っています。

以上、私の発表となります。みなさんの大事なお時間をいただいております。ありがとうございました。



万 炫孜 様へ講師お礼



米山記念奨学部門地区委員 長谷川隆志様

## 次回例会のご案内

第1739回 例会 10月13日（土）

クラブアッセンブリー（４）・地区大会

担当：社会奉仕委員会